

| | | | | | | | |
|------|--|-----|----|-----|------|----|------|
| 教科 | 工業 | 科目 | 実習 | 単位数 | 4 単位 | 学年 | 2 学年 |
| 学科 | 情報技術科 | コース | | 教科書 | | | |
| 副教材 | 自作教材 | | | | | | |
| 学習目標 | 工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。ハードウェアに関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。また、各種アプリケーションプログラムに関する基礎的な操作技術を習得し、実際に活用できるようにする。 | | | | | | |

| | | 学習内容 | 学習活動・学習のねらい | 評価の観点 | | | 備考 |
|-------------|--------------------------------------|---|--|--------|-------------|--------|----|
| | | | | 知 技 | 思 判 表 | 主 体 | |
| 1 学 期 | 4 月 | 1 オリエンテーション (1) 安全指導（服装・態度等） (2) レポートの書き方 | ・実習における基本的な心構え、機器や工具の取扱い、 レポートの作成の留意点を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | 5 月 | 2 アプリケーション実習 JW-CAD① | ・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各 アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けよう としている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | 3 アプリケーション実習 JW-CAD② | | | | | |
| | 6 月 | 4 4 班に分かれての実習① (1) マイコンカーの製作① レポート作成及び提出 | ・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作 過程における問題解決の手法を身に付けることができる。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (2) プログラミング実習 C言語① レポート作成及び提出 | ・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラムの作成を 通して、プログラム作成能力を養おうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (3) 論理回路実習① レポート作成及び提出 | 論理回路素子の取扱方法、回路組立てなどの技術を習得する ことにより、実習を通して論理回路の基礎的な知識を理解し ようとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| 7 月 | (4) アプリケーション実習 JW-CAD③ レポート作成及び提出 | ・アプリケーションソフトの操作方法に習熟するとともに、 有効な利用法・活用法を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | | |
| 2 学 期 | 8 月 9 月 10 月 | 5 4 班に分かれての実習② (1) マイコンカーの製作② | ・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作 過程における問題解決の手法を身に付けることができる。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (2) レポート作成及び提出 | | | | | |
| | | (3) プログラミング実習 C言語② レポート作成及び提出 | ・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラムの作成を 通して、プログラム作成能力を養おうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (4) 論理回路実習② レポート作成及び提出 | 論理回路素子の取扱方法、回路組立てなどの技術を習得する ことにより、実習を通して論理回路の基礎的な知識を理解し ようとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (4) アプリケーション実習 Shade① レポート作成及び提出 | ・アプリケーションソフトの操作方法に習熟するとともに、 有効な利用法・活用法を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | 11 月 12 月 | 6 4 班に分かれての実習③ (1) 製作実習① レポート作成及び提出 | ・基板製作を通して、製作過程における問題解決の手法を身 に付けることができる。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (2) プログラミング実習 C言語③ レポート作成及び提出 | ・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラムの作成を 通して、プログラム作成能力を養おうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (3) 制御実習① リレーシーケンス レポート作成及び提出 | シーケンス制御の基礎的な内容について理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (4) アプリケーション実習 Shade② レポート作成及び提出 | ・アプリケーションソフトの操作方法に習熟するとともに、 有効な利用法・活用法を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | 7 4 班に分かれての実習④ | | | | | |
| 3 学 期 | 1 月 | (1) 製作実習② レポート作成及び提出 | ・基板製作を通して、製作過程における問題解決の手法を身 に付けることができる。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (2) プログラミング実習 C言語④ レポート作成及び提出 | ・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラムの作成を 通して、プログラム作成能力を養おうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | 2 月 | (3) 制御実習② リレーシーケンス レポート作成及び提出 | シーケンス制御の基礎的な内容について理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | | (4) アプリケーション実習 S Q L レポート作成及び提出 | ・アプリケーションソフトの操作方法に習熟するとともに、 有効な利用法・活用法を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | |
| | 3 月 | 8 アプリケーション実習 Fusion360① | | | | | |
| | 9 アプリケーション実習 Fusion360② | ・アプリケーションソフトの操作方法に習熟するとともに、 有効な利用法・活用法を理解している。 | ◎ | ○ | ○ | | |

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

| | |
|------|--|
| 評価方法 | レポートの内容、出席状況、実習態度、実習意欲、実習に対する姿勢、服装等を総合的に評価する |
|------|--|